

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【公開番号】特開2002-179691(P2002-179691A)

【公開日】平成14年6月26日(2002.6.26)

【出願番号】特願2001-338322(P2001-338322)

【国際特許分類】

C 07 F 9/40 (2006.01)

B 01 J 31/24 (2006.01)

【F I】

C 07 F 9/40 Z

B 01 J 31/24 Z

【誤訳訂正書】

【提出日】平成18年11月30日(2006.11.30)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】請求項3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項3】 金属錯体触媒系は、R¹、R²、R³および/またはR⁴がそれぞれ互いに独立して、非置換かまたは置換されたC₃～C₁₂-アルキル基であり、その際、水素、フッ素、塩素、臭素およびヨウ素から成る群からの多くとも一個の原子が、-炭素原子と結合しており；および/またはR¹、R²、R³および/またはR⁴が、それぞれ互いに独立して、6環原子を有する、非置換かまたは置換された芳香族基であり、その際、1個、2個または3個の環原子は、窒素によって置換されていてもよく；および/またはR¹はR²と一緒にになって、および/またはR³はR⁴と一緒にになって、鎖上に4～7個の原子を有し、かつ、炭素原子の合計が30個以下である、非置換かまたは置換された脂肪族基、芳香族基または芳香脂肪族基を形成する、式(I)のホスフィンを有する、請求項2に記載の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】請求項4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項4】 使用される金属錯体触媒系は、Xが、鎖上に1～8個の原子を有する、非置換かまたは置換された脂肪族、芳香族または芳香脂肪族基であり、かつ、炭素原子の合計が20個以下である、式Iのホスフィンを有する、請求項2または3に記載の方法。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0015

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0015】

本発明の目的のために、炭素を含有する有機基は、炭素原子1～30個を有する、非置換かまたは置換された、脂肪族、芳香族または芳香脂肪族基である。この基は、一つまたはそれ以上のヘテロ原子、たとえば、酸素、窒素、硫黄またはリン、たとえば-O-、-S-、-NR-、-CO-、-N=、-PR-および/または-PR₂を含有していても

よいか、および／または、たとえば、酸素、窒素、硫黄および／またはハロゲン、たとえば、フッ素、塩素、臭素、ヨウ素および／またはシアノ基を含有する、一つまたはそれ以上の官能性基によって置換されていてもよい（この場合、基Rは同様に炭素を含有する有機基を示す）。炭素を含有する有機基が、一つまたはそれ以上のヘテロ原子を含有する場合には、さらに、これはヘテロ原子を介して結合されてもよい。したがって、たとえば、エーテル、チオエーテルおよび第3級アミノ基がさらに含まれる。炭素を含有する有機基は一価または多価であってもよく、たとえば、二価の基である。

【誤訳訂正4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0016

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0016】

本発明の目的のために、炭素を含有する有機架橋基は、炭素原子1～20個および鎖上に1～10個の原子を有する、非置換かまたは置換された、脂肪族、芳香族または芳香脂肪族の二価の基である。有機架橋基は、一つまたはそれ以上のヘテロ基、たとえば、酸素、窒素、硫黄またはリン、たとえば、-O-、-S-、-NR-、-CO-、-N=、-PR-および／または-PR₂、および／または、たとえば、酸素、窒素、硫黄および／またはハロゲン、たとえば、フッ素、塩素、臭素、ヨウ素および／またはシアノ基を含有する、一つまたはそれ以上の官能性基によって置換されていてもよい（この場合、基Rは同様に炭素を含有する有機基を示す）。有機架橋基が、一つまたはそれ以上のヘテロ原子を含有する場合には、さらには、ヘテロ原子を介して結合されてもよい。したがって、たとえば、エーテル、チオエーテルおよび第3級アミノ基がさらに含まれる。

【誤訳訂正5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0017

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0017】

本発明の方法において、R¹、R²、R³およびR⁴が、それぞれ互いに独立して、非分枝または分枝の、非環式または環式の、非置換かまたは置換された、1～20個の脂肪族炭素原子を有するアルキル基であり、その際、一つまたはそれ以上のCH₂基はヘテロ原子、たとえば、-O-によってか、またはヘテロ原子含有基、たとえば、-CO-または-NR-によって置換されていてもよく、かつ、その際、水素原子の一つまたはそれ以上は、アリール基のような置換基によって置換されていてもよく；非置換かまたは置換された、単環かまたは二環または三環の縮合環を有する芳香族基であり、その際、一つまたはそれ以上の環原子は、ヘテロ原子、たとえば、窒素によって置換されていてもよく、かつ、その際、一つまたはそれ以上の水素原子は、置換基、たとえばアルキル基またはアリール基によって置換されていてよく；あるいは、R¹とR²が一緒になって、および／またはR³とR⁴が一緒になって、非置換かまたは置換された、鎖上に原子3～10個を有する、脂肪族、芳香族または芳香脂肪族基を形成する。

【誤訳訂正6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0021

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0021】

本発明の方法は、特に好ましくは、R¹、R²、R³および／またはR⁴が、それぞれ互いに独立して、非置換かまたは置換されたC₃～C₁₂-アルキル基であり、その際、水素、

フッ素、塩素、臭素およびヨウ素から成る群からの多くとも一つの原子が、 - 炭素と結合しており；および／または、R¹、R²、R³および／またはR⁴が、それぞれ互いに独立して、非置換かまたは置換された、6環原子を有する芳香族基であり、その際、1個、2個または3個の環原子が窒素によって置換されていてもよく；および／または、R¹とR²は一緒になって、および／またはR³とR⁴は一緒になって、非置換かまたは置換された、鎖上で4～7個の原子を有し、かつ炭素原子の合計が30個未満である、脂肪族基、芳香族基または芳香脂肪族基を形成する。

【誤訳訂正7】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0026

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0026】

本発明の方法は、好ましくは、Xが、鎖上に炭素原子1～8個、好ましくは2～4個を有し、かつ、炭素原子の合計が20個以下である、非置換かまたは置換された、脂肪族、芳香族または芳香脂肪族基である、式(I)のホスフィンを用いて実施する。この基において、一つまたはそれ以上のCH₂基は、ヘテロ原子、たとえば、-O-、またはヘテロ原子含有基、たとえば-CO-または-NR-によって置換されていてもよいが、および／または、一つはまたはそれ以上の芳香族環原子が、ヘテロ原子、たとえば、窒素によって置換されていてもよい。